



共有する

## まとめ

### よき使い手になるために

端末たんまつを使って「共有」や「発表」を行う場合には、相手のことを意識いしきする必要があります。

どんな人がこの情報じょうほうを受け取るのかを想像そうぞうしながら、「どうすれば相手に伝わりやすいかな」ということを考え、工夫してみましよう。

### チェックしてみよう

- わたし 私は、上手に友だちと意見を共有することができる
- わたし 私は、友達と情報じょうほうを共有することのメリットを説明できる
- わたし 私は、チャットなどテキスト（文字）で伝えるときにどんなことに気をつければよいかを説明できる
- わたし 私は、チャットで変なコメントを書かれたときに、どう対応たいおうすればよいかを説明できる



SNSでは、いろいろな<sup>じょうほう</sup>情報が文字や映像<sup>えいぞう</sup>で共有されます。これらは、文字を目で見る、映像<sup>えいぞう</sup>を耳で聞くことで、その情報<sup>じょうほう</sup>を相手と共有できますが、最近では、「<sup>はな</sup>におい」を離れた人と共有する方法なども研究されています。これからの社会では、五感（目で見る・耳で聞く・口で味わう・鼻でかぐ・手でさわる）を相手と共有することもあるかもしれません。

考えてみよう①

今後、五感の中で、<sup>はな</sup>離れた人と共有されることはどんなことがあるだろうか。

考えてみよう②

もし、そうした情報<sup>じょうほう</sup>が他の人と勝手に共有されたら、どんな問題が起きるだろうか？